

(公社) 日本技術士会 東北本部 岩手県支部 研究会 活動報告

活動名	令和元年度 農業研究会 現地研修会
主催	岩手県支部 農業研究会 (東北本部農業部会と共催)
日時	令和元年 10月30日 (水) 10:30~16:00
場所	I 国営和賀中央農業水利事業 (北上市和賀石羽根地内 他) II 国営岩手山麓農業水利事業 (滝沢市大崎地内)
参加人数等	8人 (本部会員 4名 非本部会員 4名)

活動内容

～国営農業水利事業の工事現場研修会～

I. 国営和賀中央農業水利事業

(1) 事業概要

本地区は、和賀川下流左岸に位置し、北上市、花巻市に跨る受益面積 3,598ha に農業用水を供給している。本事業の前歴は、昭和 45 年～昭和 54 年にかけて実施した国営和賀中央土地改良事業。事業完了から 40 年余を経過し、老朽化等による機能低下が著しく維持管費等が増大したこと、排水においては、降雨形態および土地利用の変化により流入量が増大し、溢水や湛水被害が発生していること等から対策事業を実施。

事業量：頭首工改築 1 基、用水路 L=61km、排水路 L=1.6 km、水管理遠方監視制御 1 式、小水力発電 1 式
概算事業費：215 億円

(2) 中央幹線放水路分流通工

改修の背景は、都市化に伴う農地転用等による流出形態が変化したこと、中央幹線排水路及び放水路分岐点において、溢水・湛水被害が度々発生したことによる。
構造：現場打ち RC、B5.8～4.5m×H2.9m
延長：排水路 L=94.7m、放水路 L=42.7m

II. 国営岩手山麓農業水利事業

(1) 事業概要

用水は岩洞ダムを水源とし、盛岡市及び滝沢市に跨る受益面積 1,574ha の水田を潤している。

本事業の前歴は、昭和 16 年から始まった国営開拓建設事業に遡る。岩洞ダム、導水路、幹線用水路 他を昭和 46 年までに造成を完了。これらの施設は 40 年以上経過しており、寒冷な気象条件による劣化が著しく、住宅地沿いの導水路は漏水等が発生した場合にはライフライン等へ甚大な影響が懸念され、事業を実施。

事業量：ダムの洪水吐・取水塔整備 1 式、導水路・用水路整備 L=20.5km 他
概算事業費：175 億円

(2) 水路トンネル工事

延長 L=1,146m (うちシールドトンネル L=1,065m)
施工業者：共同企業体 (戸田建設 (株) ほか 1 社)
シールドマシン：泥土圧シールド工法マシン
φ=3,080mm、L=2,250mm
施工進捗率：約 20% 工事完了：2021 年 3 月

【文責：佐藤】



和賀中央農業水利事業の概要説明



同上事業 中央幹線放水路分流通工の説明



岩手山麓農業水利事業の概要説明および水路トンネル工 (シールド工) の工事説明